

	準備	手術前日	手術～回復前		回復後期	
			術前★	当日	術後1日	術後2日(退院)
達成目標	<p><入院中の服装> 前あきのパジャマ このほか「入院ご案内」を参考に準備下さい。</p> <p><禁煙について> 肺合併症を起こす原因になるので、手術前は禁煙して頂くようお願い致します</p> <p><手術時間> 手術の時間は入院後ご確認下さい。 手術の時間は前日の夕方頃決まります看護師にご確認下さい</p> 	手術の準備が出来る	精神的・身体的に安定した状態で手術に望むことができる。	手術後の全身状態が安定し、歩行ができる。	手術後合併症が予防でき、異常時には適切な処置が受けられる。自分の身の回りのことができる。	
薬剤		夕食後に下剤の内服があります	持参薬は確認しますので看護師にお渡しください	夕食後より鎮痛剤の内服が開始になります(3日間)。普段内服されている薬も再開してください。		鎮痛剤はなくなれば終了です。痛みが続くようであれば申し出てください。
注射			点滴を開始します。	手術室からの点滴は終了すれば抜去します。		
処置		手術する側の陰毛をカットします	排便がなければ浣腸を行います。手術部位の切毛確認を行います	手術創の処置をします。防水テープが貼られます。	9時から廻診があります。	
安静度		制限ありません		麻酔が覚めれば歩行可能です。最初の歩行は看護師が付き添いますので、トイレに行きたくなればお知らせ下さい	制限はありません。	
食事/水分		夕食まで可能です 飲水は21時まで	手術まで絶飲食です	麻酔が十分に覚めれば水分摂取可。夕食より普通食が開始になりますが、看護師が確認するまではお待ちください。	普通食。場合によっては治療食。	
留置物				点滴終了後、点滴の針を抜去します。		
看護				麻酔が十分覚醒すればトイレに歩いていただけます。手術後初めての排尿を看護師が確認させていただきます。	状態によって看護師により体を拭くか、シャワーに入っていただけます。	
観察			前日内服の下剤の反応便を確認します。血圧など全身状態のチェックをします。	麻酔の覚醒状態を観察します。血圧など全身状態や、創の状態を観察します。	創の状態や全身状態を観察します。排便のコントロールができていないか観察します。	退院後の生活。 ①便秘予防に努めて下さい。(適度な運動・正しい食生活。) ②創部の発赤・熱感・腫れ・高熱があれば受診して下さい。
教育・説明		病棟オリエンテーションを行います。主治医より手術について説明があります。看護師から手術の流れについて説明します。手	排尿を済ませたあと、眼鏡・時計・指輪・義歯・コンタクトなどは全て外し、前開きのパジャマに着替えます(パンツは可)。	痛みのあるときや、眠れないときはお知らせください。	退院前に次回受診日をお知らせします。	

※患者様の状態により変更する事がありますのでご了承下さい。なおご不明な点がありましたら遠慮なくスタッフにご相談下さい。
 ※手術当日のパジャマはフリース素材禁止です。寝衣のレンタルもあります。
 ※腹帯購入をお願いする場合があります。
 ※入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリー、コンタクトは手術当日、処置等で必要な際は取り外しをお願いします。入院中のお化粧もご遠慮願います。